

コスト削減のご支援

~CCイノベーションのコンサルティング~

株式会社CCイノベーション

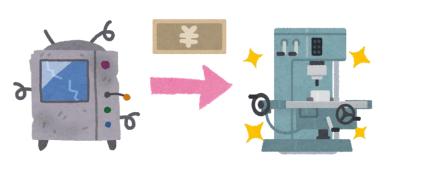


- 1. 課題解決の背景
- 2. 目指す姿
- 3. 取り組むべきこと
- 4. CCイノベーションのコンサルティング
- 5. コンサルティングメニュー例
- 6. 期待される効果

01. 課題解決の背景



- ・企業がお客さまにより良い価値を提供するために事業を変革 (構造改革) していくには、人材・設備・研究開発に投資を続ける 必要があります。
- ・その**資金を捻出するために**、まず最初の取り組みとして**コスト削減** に取り組む必要があります。





コスト削減は会社改革の一丁目一番地です



効率化や新たな付加価値に向けた投資(BPRと人的投資、研究開発) →より良い製品・サービスの提供による競争力の強化

気づき

コストの見える化

- ・無駄の発見
- ・調達の最適化
- ・コスト意識の醸成

仕事の見直し

B P R

- ・処理の標準化
- ・業務の削減
- ・人員の余力捻出

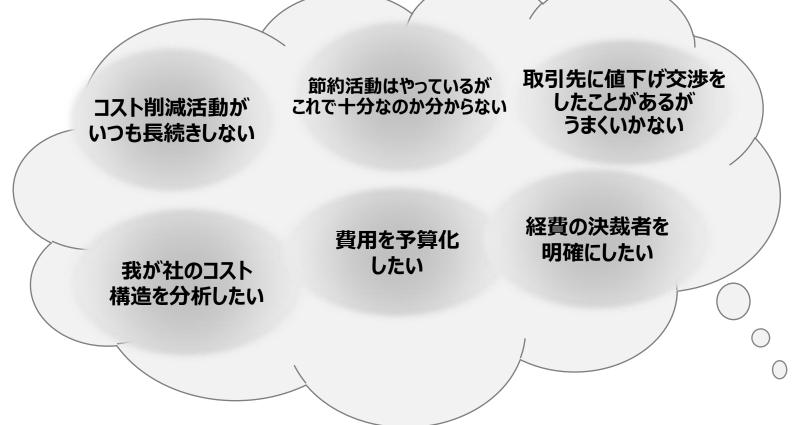
組織の見直し

資源配分

- •人材配置
- •人材育成
- ・ 資産の有効活用

コスト削減だけを捉えると効果は限定的

捻出した利益・ノウハウ・人的リソースを次なる戦略に向ける必要があります





このようなお悩みを全て解決いたします

04. CCIのコンサルティング



● 弊社グループ会社の北國銀行では2002年よりコスト削減を継続実施

必要性の視点

コストの整理:

・費用のゼロベースの見直し(聖域化・しがらみ・ブラックボックス化)

具体的な取組み:

・関係者様、調達先様とWIN-WINの発想を基に削減交渉(継続的なリレーション構築)

効率性の視点

具体的な取組み:

- 業務のゼロベースの見直し(発想の転換)
- ・電子化・事務の合理化によるワークスタイルの変革

継続性の視点

継続的な取組み:

- ・総務部門を戦略本部としたプロセス重視の案件管理(組織面の整理)
- ・見える化・PDCAチェックを基にした、継続力・持続力のある体制の構築(仕組面の整理)

当グループで実際に取り組んだノウハウを提供し、皆さまの思いを形にしていきます

05. コンサルティングメニュー例



プロセス

想定される支援事項

Phase 1 現状診断 (無料) ●コストデータの分析

●簡易ヒアリング

- ・想定削減効果の診断
- ・削減アプローチの方向性

Phase 2 計画立案

- ●削減方針の決定
- 詳細ヒアリング

- ・費用削減のアクションプランの 策定
- ・業務改善のアクションプラン 策定

Phase 3 案件検証

●アクションプランの着手

- ・アクションプランの進捗管理
- ・業務改善の実行支援
- ・その他各種課題解決の支援

06. 期待される効果



イメージ

費目	内容	仮方針	支出額	削減額
施設関連費	・保守費・光熱費・管理費・賃料	・メンテナンス契約の見直し・プラン変更・サプライヤー見直し・相場比較による値下げ交渉	••	
IT関連費	·保守費 ·更新費	・保守実績調査による契約見直し ・業務の内製化(効果検証)	• •	
業務委託費	配送費警備費	・拠点集約 ・サプライヤーの見直し、必要性の検討	• •	
諸費	·消耗品費 ·通信費 ·雑費	・購入ルールの見直し、管理機能の強化 ・プラン変更 ・仕様の見直し、使用量の適正化	••	
		合計	•••	

コスト削減に取り組むべき費目や暫定目標の設定 継続的に活動できる組織体制が構築できます



- 本資料は、経営コンサルティングに関する情報の提供のみを目的として作成されたものであり、 経営コンサルティングのお取引を強制するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本プログラムへの参加の最終決定はお客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などにご相談いただきますようお願いいたします。